

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(25)番 福山市立 大津野小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、積極的に説明していたり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。

2 授業の現状

- ふり返りの視点に沿って、1時間の学びをふり返られるようになった。
- △児童が主体的に課題を発見したり、追求したりすることが少ない。
- △友だちと話し合う中で考えを広げたり、深めたりすることが十分ではない。

転換

3 めざす授業の姿

- 自ら考え学び、友だちと協働しながら高まり合う授業
- ・自分の考えを根拠をもとに表現する授業
- ・児童が互いに学び合い、考えを広げたり、深めたりする授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・国語科において、部会で教材研究やカリキュラムマップをつないだ単元づくりを行い、必然性のある単元開発をする。 ・国語科の重点単元において学期に1回課題が大きい児童の個別の指導計画を立て、児童の変容を見取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部会で教材研究と単元計画を含めた指導案検討を行った。全員が自分で事前に教材研究をして検討したが、教材分析シートの個人差が大きかった。 ・個別の指導計画を立て、児童のつまずきを予想した手立てを準備しておくことで、児童の学習への意欲は高まったが、学力の伸びは十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、低、中、高、特支部会で教材研究とカリキュラムマップをつないだ単元づくり、指導案検討を行い、全員が関わることで指導力を上げる。 ・引き続き1学期の課題を基に個別の指導計画を立てる。重点単元の前にプレテストを行い、何が定着していないのかを明確にし手立てを講じる。 			

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況 ()は県平均との差

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	75(+2)	56(-3)
算数	66(±0)	59(+5)
理科	64(+1)	

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語		
算数		
理科		

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 26/48	20mシャトルランと50m走、ソフトボール投げで、男子が12/18種目、女子は5/18種目課題があった。	握力と50m走、20mシャトルランに課題がある。	体育の授業の導入で、鬼遊びや20mダッシュを行ったり、家庭学習で体幹を鍛えるメニューを取り入れたりする。
(女子) 30/48			
目標値	男子「握力」「50m走」「20mシャトルラン」の県平均値かつ全国平均値以上の割合を30%以上にする。		

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	44.0	32.0	62.0	26.0	46.0	38.0
学校が楽しい	86.0					

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	6.3	31.3
仕事に充実感がある	6.3	18.8

児童生徒アンケート(%) (7)月実施

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	54	34
自分の考えは、認められている	49	38

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (8)月末現在

暴力行為	0	不登校	0.6
------	---	-----	-----